

事前評価個表

整理番号	39
------	----

地域（地区）名	能登地域	事業名	森林環境保全整備事業
計画策定主体	石川県	対象市町村	七尾市外10市町
事業実施期間	H23 ~ H27（5年間）	事業実施主体	県、市町、林業公社、森林組合等

事業の概要・目的	<p>本地域は、石川県北部に位置し、区域面積は217,324haで七尾市をはじめ5市、7町が含まれる。</p> <p>森林の分布は、能登半島中北部の比較的緩傾斜な低山性山地と石動山、暮石ヶ峰、宝達山を経て倶利伽羅峠に至るやや急峻な南部山地からなり、その面積は144,259haで、うち民有林が143,861ha(99.7%)、国有林398ha(0.3%)となっている。民有林における人工林は72,347haで人工林率は50%と県平均40%に比べ高い。</p> <p>その樹種別内訳はスギ47,664ha(66%)、アテ12,388ha(17%)、マツ7,126ha(10%)となっており、また、年齢構成は10年齢をピークとした偏った構成になっている。人工林の成熟化が進んでいるが、林業採算性の悪化や境界が不明確などの理由により、適切な森林整備が行われなくなっており、手入れ不足林の増加等により森林の多面的機能が失われることが危惧されている。</p> <p>このため、人工林については、森林資源の循環的利用を目指し、効率的な木材生産を行うための基盤整備を強化しつつ、集約化による森林整備を推進するとともに、経営条件が不利な人工林については、針広混交林や広葉樹林への誘導を図る。</p> <p>本計画に基づき、計画的に森林整備を行うことにより、間伐材利用の増加や森林の公益的機能の発揮が期待される。</p> <p>自然環境の保全や農林業の振興に配慮した森林整備を実施するため、関係部局との連携を図る。</p>
事業内容・事業費	<p>森林整備：5,450ha 人工造林、樹下植栽等、下刈、雪起こし、枝打ち、除伐、間伐等</p> <p>総事業費：2,313,926千円</p>
費用対効果分析結果	<p>B/C = 4.40 (総便益(B) = 19,568,378千円、総費用(C) = 4,437,519千円)</p>
評価結果	<p>必要性：保育対象林分の現状からみて必要性が高い。</p> <p>効率性：投下する費用を上回る効果が見込まれることから、事業の効率性が認められる。</p> <p>有効性：資源として本格的に利用可能な段階を迎えている人工林等を適正に整備することにより、公益的機能の発揮と県産材の安定供給が図られ有効である。</p> <p>森林は多面的な機能を有しているが、これらの機能を一度失うとその回復には長期間を要することから、生育段階や立地条件に応じた適時・適切な森林整備が不可欠である。</p> <p>本計画では、森林の公益的機能の発揮に配慮した計画としているほか、効率性や有効性が認められることから、本計画を実施することは適当である。</p>

便 益 集 計 表

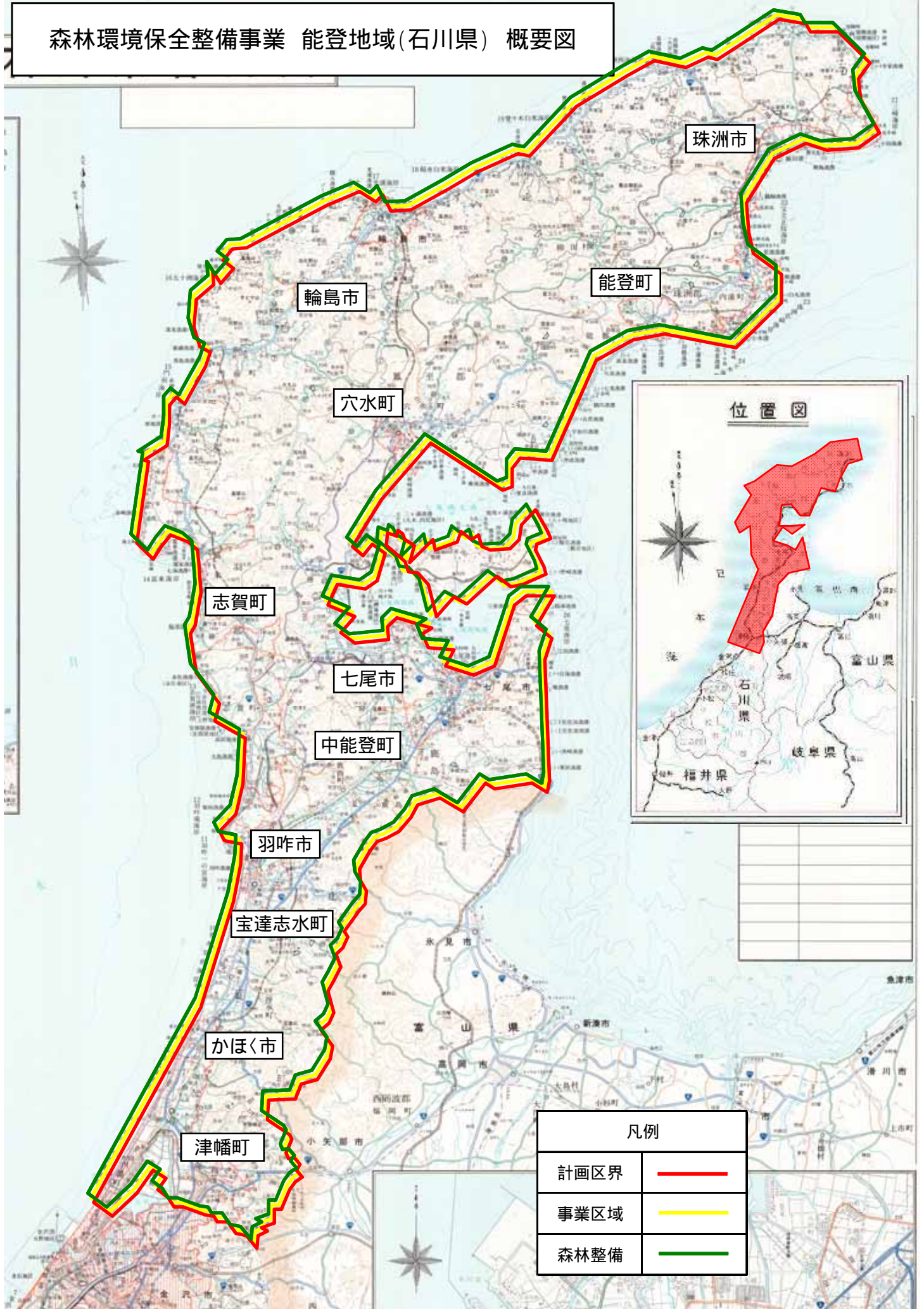
(森林整備事業)

事業名: 森林環境保全整備事業
 地域名: 能登

石川県
 (単位: 千円)

大 区 分	中 区 分	評 価 額	備 考
水源かん養便益	洪水防止便益	3,105,664	
	流域貯水便益	2,573,424	
	水質浄化便益	3,868,833	
山地保全便益	土砂流出防止便益	6,018,977	
	土砂崩壊防止便益	317,599	
環境保全便益	炭素固定便益	1,439,301	
木材生産便益	木材生産確保・増進便益	2,244,580	
総 便 益 (B)		19,568,378	
総 費 用 (C)		4,437,519	
費用便益比	$B \div C = \frac{19,568,378}{4,437,519} = 4.40$		

森林環境保全整備事業 能登地域(石川県) 概要図



位置図



凡例	
計画区界	— (Red line)
事業区域	— (Yellow line)
森林整備	— (Green line)